

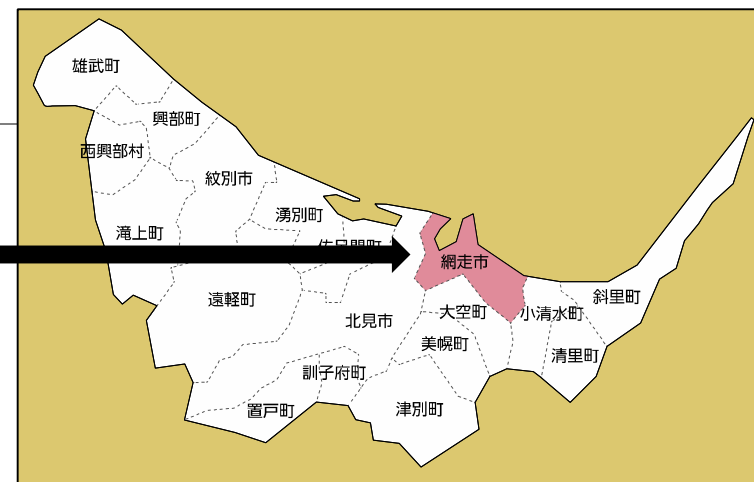
網走どこでもおでかけ

「どこバス」 持続可能な公共交通について



網走市 観光商工部 商工労働課

網走市の紹介



網走市基本情報

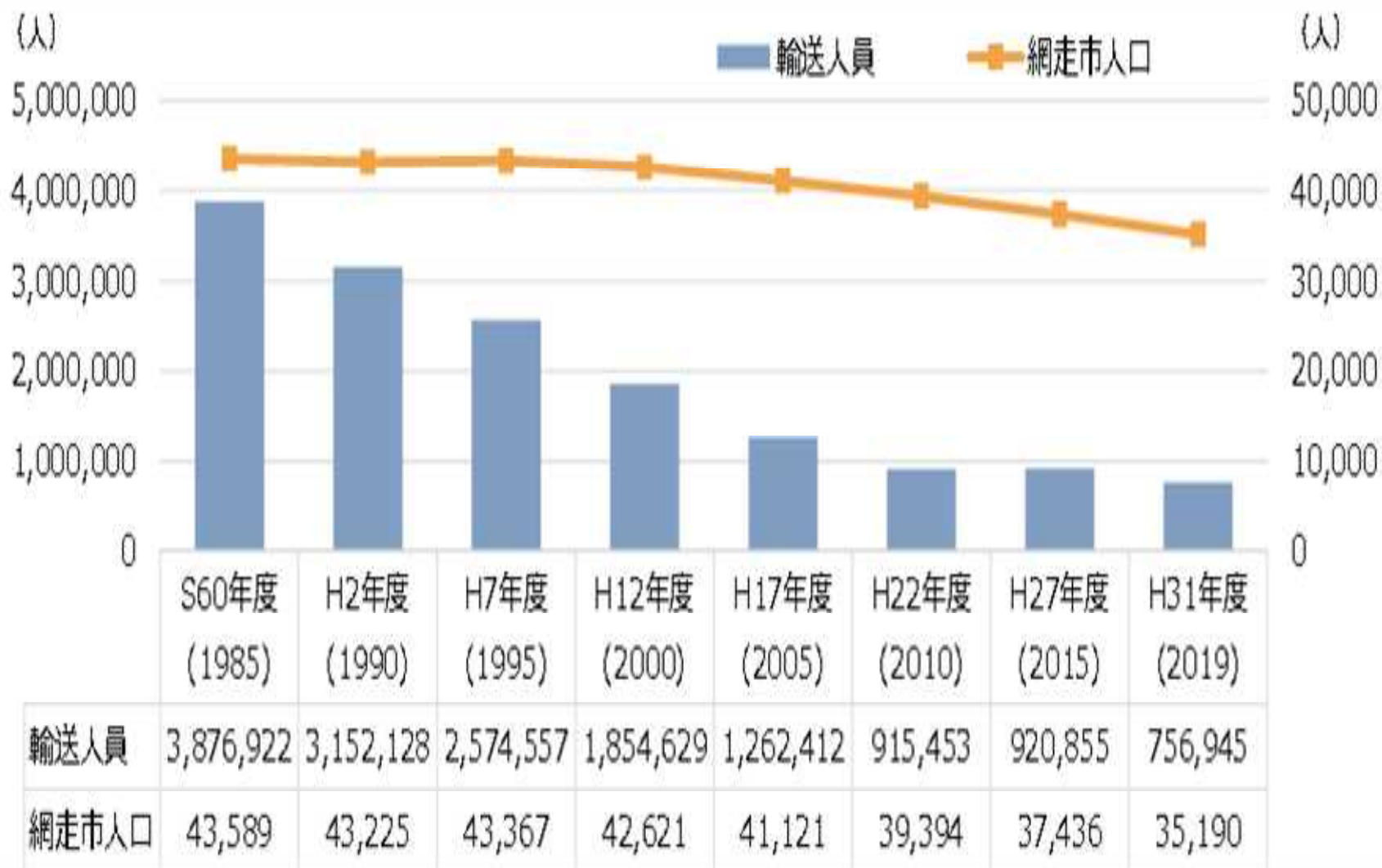
- 面積 / 471km²
- 人口 / 33,826人 (R4.2)
- 65歳以上人口率 / 27.4%(H27)
→北海道35市で8番目に低い
- 女満別空港 (羽田・新千歳・関西・成田・丘珠)
- 網走駅 (札幌・旭川・釧路)



◆路線バスの現状

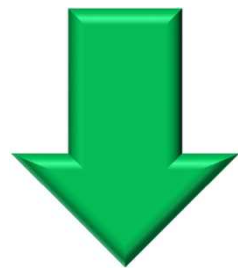
- 人口減少や自家用車の普及により、バスの利用者数は30年間で約5分の1にまで減少。
- 朝と夕方は通勤通学で一定の利用があるが、日中の利用は少ない状況。
- こうした状況でも、決まった時間に決まった経路を大型バスが走っている。
- 一方、乗客からは便数の少なさやバス停までの距離について要望が寄せられている。

❖ 路線バスの利用者数



◆公共交通の課題

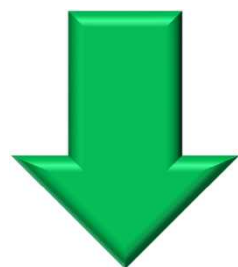
- 人口減少・少子高齢化の進展、自家用車の普及などによる、輸送人員の減少、運転手不足
- 公共交通に対する補助金の負担増



今後、公共交通の維持さえ困難になるなど深刻な状況が懸念される

◆事業者への依頼の経緯

- 令和元年に運行事業者である網走バス(株)から、横浜市で取り組んでいる AIバスの実証実験の紹介。
- 公共交通計画（令和3年3月策定）にAIバスの実証実験をすることを盛り込むことを検討。



令和2年8月から実証実験開始

◆実証実験概要

- 1年目 令和2年8月1日～11月30日
- 2年目 令和3年6月1日～令和4年3月31日
- 3年目 令和4年4月1日～令和5年3月31日

実験結果や利用者の意見を参考に
エリアの拡大、料金の改定

令和5年4月からの本格運行を目指す

◆今後の方向性

- 持続可能で地域に最適な交通ネットワークの構築を進めるためには、交通事業者をはじめ、行政、企業、団体、市民といった地域全体の協力が欠かせない。

- ◆ 医療、教育、商業、観光、交通安全、地域コミュニティ、環境など多面的な効果なども含め、地域公共への理解と関心を深める取り組みを進めながら地域利用の推進を図っていく。
- ◆ 誰もが安全・安心に移動できるよう、市街地、郊外地などの地域特性を踏まえながら、効率的・効果的な交通事業を推進し、既存資源の有効活用や交通手段などについて検討を進めるとともに地域公共交通の維持、最適化を図っていく。